

■ 浚渫の影響評価 ～区分2の指標種における影響値の比較～

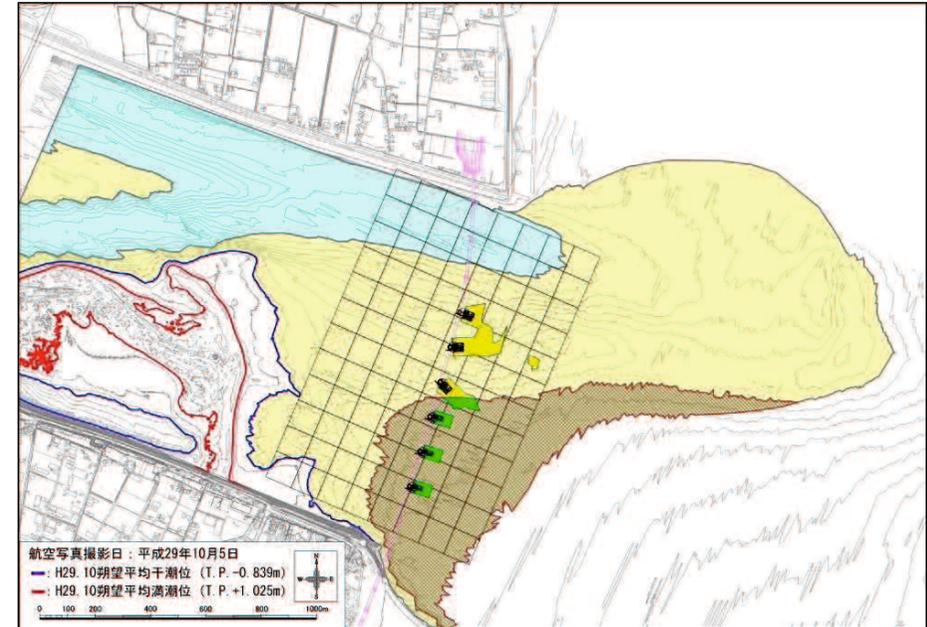


第8回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分2の指標種において影響値は下がっていることが確認された。

■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第8回検討会）



■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第10回検討会）



項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m ²
生息可能場面積	406,126
浚渫面積	32,906
浚渫の影響評価	8.1%

項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m ²
生息可能場面積	417,098
浚渫面積	13,374
浚渫の影響評価	3.2%

影響値が減少